

CASBEE-広島 2014年版 (仮称)西風新都プロジェクト新築工事			■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.5
Q1 室内環境			0.40		-	2.9
1 音環境		2.6	0.16	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 2 開口部遮音性能		3.0	0.95	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.05	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.7	0.36	-	-	2.7
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.21	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	1.00	-	-	
1 昼光率		-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	-	-	
3.3 照度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		-	-	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.26	-	-	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	全て規制対象外もしくはF☆☆☆☆の建築材料を使用	4.0	1.00	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能		-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理		3.5	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	CO2濃度は手動で計測され、管理マニュアルが整備される	4.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.9	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	天井高は3.3m以上	4.0	0.31	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.24	-	-	
3 内装計画	コンセプト、機能が明確でそれに基づく内装計画をパースにより検討	5.0	0.45	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内装床・壁の防汚性配慮等	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	飲食、集会所用途で更新間隔の長い仕上の採用	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	更新間隔の長い配管仕様を採用。上位2種にBを使用、Eは不採用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

	2.4 信頼性			3.7	0.20	-	-				
	1	空調・換気設備	節水型器具を過半以上採用、受水槽に災害時飲料用蛇口の設置 非常用発電機・UPSを設置等	3.0	0.20	-	-				
	2	給排水・衛生設備		4.9	0.20	-	-				
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-				
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-				
	5	通信・情報設備		4.0	0.20	-	-				
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6			
	3.1 空間のゆとり		階高は3.9m以上 壁長さ比率0.04	5.0	0.30	-	-				
	1	階高のゆとり		5.0	0.51	-	-				
	2	空間の形状・自由さ		5.0	0.49	-	-				
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-				
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-				
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-				
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-				
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-				
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-				
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-				
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-				
	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-		-	4.1	
	1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-		-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮				5.0	0.40	-	-	5.0			
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0			
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	イベント広場での地域活動のにぎわい貢献や中間領域の形成等	5.0	0.50	-	-				
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-				
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5			
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7			
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0			
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0			
	3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.83 住宅(専有部) -	4.3	0.50	-	-	4.3			
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明など高効率設備の採用	4.3	1.00	-	-				
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-				
	4 効率的運用		中央監視設備の導入で主要な用途別エネルギーを把握、分析	3.5	0.20	-	-	3.5			
	集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-				
	4.1	モニタリング		4.0	0.50	-	-				
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-				
	集合住宅の評価			-	-	-	-				
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-				
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4			
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4			
	1.1	節水	節水器具に加え省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-				
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-				
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-				
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5			
	2.1	材料使用量の削減	強度の高い材料仕様による材料使用量の削減 - ビニル床シート 内装材と設備が錯綜しない収まりやOAフロアの採用	4.0	0.11	-	-				
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-				
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-				
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-				
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-				
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0			
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-				
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-				
	1	消火剤		-	-	-	-				
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-				
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-				
	LR3 敷地外環境				-	0.30	-		-	3.2	
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6			
	2 地域環境への配慮		バス停の設置、十分な駐車スペース確保等	3.1	0.33	-	-	3.1			
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-				
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25	-	-				
	1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-				
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.33	-	-				
	3	交通負荷抑制		5.0	0.33	-	-				
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-				
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0			
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-				
	1	騒音		3.0	1.00	-	-				
	2	振動		-	-	-	-				
	3	悪臭		-	-	-	-				
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-				
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-				
	2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-				
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-				
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-				
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-				
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-				